

# 第1回 CVP フォーラム研究集会

CVP - a New Laser Prostatectomy with Potential Benefits

開催日程：平成 30 年 5 月 12 日（土） 15：30～17：00

開催場所：福井市地域交流プラザ（アオッサ 6 階） 研修室 607  
福井県福井市手寄 1 丁目 4-1

会長：本間 之夫

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 内線：2101



## ご 挨 拶



第1回 CVP フォーラム研究集会  
会長 本間之夫  
日本赤十字社医療センター院長

この度は、第1回 CVP フォーラム研究集会の会長にご指名いただきました。開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

前立腺肥大症に対する手術については、社会の高齢化などに伴い、より低侵襲な手技への需要が高まっています。2016年度より保険収載されたCVP(Contact laser Vaporization of the Prostate：接触式レーザー前立腺蒸散術)は、前立腺肥大症に対する安全で低侵襲な手技として期待されております。しかし、CVPの手技や適応基準，治療成績などについては、議論の余地が大きく残されています。

このような必要性を鑑み、本年1月よりCVPに特化した研究会であるCVPフォーラムが組織されました。会員は既に50名を越えおります。今回、その第1回の研究集会を、平成30年5月12日に、福井市で開催する運びとなりました。初回であることから、一般演題は募集せず、既に多くの経験をお持ちの先生方によるシンポジウム形式とさせていただきました。

ご参加の皆様におかれましては、CVPの普及と発展のために、活発なご討議をお願い申し上げます。

なお、本会と一部重なる形で、PVP研究会も開催されます。両研究会のいずれかの会員であれば、割引で両者に参加が可能です。前立腺レーザー治療という点で共通する手技について、一層の理解を深めることができれば幸いです。

## 会場案内

福井市地域交流プラザ（アオッサ 6 階）    研修室 607 号室

【住所】 福井県福井市手寄 1 丁目 4-1

【交通】 ◎電車をご利用の方

J R 福井駅東口より・・・徒歩 1 分

◎バスをご利用の方

終点「福井駅」より・・・徒歩約 2 分

◎高速道路をご利用の方

北陸自動車道「福井 I C」より・・・約 15 分

【駐車場】 アオッサ地下駐車場（営業時間 7：30～22：30）

30 分無料 / 31 分から 60 分まで 200 円 / 以降 30 分 100 円    ※1 日最大 1000 円

※駐車場・駐輪場の台数には限りがございます。



# 第1回 CVP フォーラム研究集会 プログラム

## CVP - a New Laser Prostatectomy with Potential Benefits

日 時：平成30年5月12日（土） 15:30～17:00

場 所：福井市地域交流プラザ（アオッサ6階） 研修室 607号室

会 費：会 員 2,000 円 \*PVP 研究会の会員も含む

非会員 5,000 円

※CVP フォーラムまたは PVP 研究会の会員が両方の会合に参加する場合には、  
共通参加証（4,000 円）を用意します。

### ●開会の挨拶

会長・代表世話人 本間之夫（日本赤十字社医療センター）

15:30～15:40

### ●シンポジウム「CVP-実践と経験から」

15:40～16:55

（発表 13 分 質疑応答 2 分）

座長： 大家基嗣（慶應義塾大学）

松田公志（関西医科大学）

宮内聡秀 （大分泌尿器科病院） 「CVP 手技の工夫と改善」

駒井資弘 （関西医科大学） 「CVP の初期経験」

河野義之 （東京腎泌尿器センター大和病院） 「上達のコツと Pitfall」

加藤 忍 （かとう腎・泌尿器科クリニック） 「中期成績から見た CVP の将来」

総合討論：（15 分）

### ● 閉会の挨拶 山口秋人（原三信病院）

16:55～17:00

※終了後にも PVP 研究会が行なわれています



大分泌尿器科病院  
理事長・院長  
宮内 聡秀  
Toshihide Miyauchi

【経歴】

2003 年

大分医科大学医学部卒業

九州大学医学部泌尿器科学教室入局

九州大学医学部付属病院 泌尿器科研修医

2004 年

独立行政法人別府医療センター 泌尿器科研修医

2005 年

大分泌尿器科病院

2012 年

大分泌尿器科病院 副院長

2018 年

医療法人圭成会 理事長

大分泌尿器科病院 院長

## 【演題 1】

# CVP 手技の工夫と改善

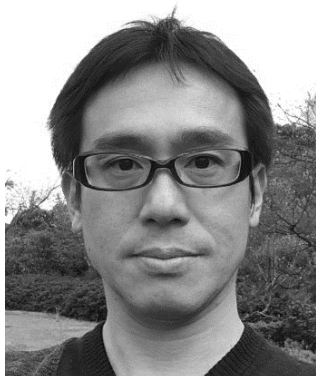
### 〔概要〕

当院では 2011 年より HPS-PVP を導入、7 年間で約 700 症例の治療経験を有し、治療効果と安全性は疑う余地はなかった。しかし、手術中盤からの蒸散力の低下、蒸散量、不意の出血、手術時間を憂慮して 2016 年晩秋より CVP を開始。HPS-PVP を凌駕する高い蒸散力と止血能、手術時間の大幅な短縮を実感し、現在までに約 80 症例の治療経験を得た。

CVP 開始初期のファイバー操作は PVP と同様の操作が主であった。すなわち、Twister fiber を組織に接触させ左右に振る動き、いわゆる sweep を重視していた。Sweep は蒸散力と蒸散効率はいいが、その動きにこだわりすぎることによって組織を巻き込んでしまい、結果的に組織の付着と付着した組織を除去する操作によるファイバー劣化とダメージが懸念されるようになった。

しかし、症例を重ねるごとにファイバー操作は CVP により適した動きへと modify され、現在は sweep だけでなく、TURP でのループで前立腺を切除するような前後の動き（TURP like）も重視するようになった。この前後の動きにより、ファイバーと組織の付着が大幅に少なくなり、ファイバーの損耗を大きく減少させることが可能となった。さらに、ファイバーを動かし続けることで組織との接触を短時間にしつつ、レーザーを照射し続けることで、さらなる蒸散力の向上と厚い凝固層形成の予防に繋がることを期待できる。出力はほぼ 200W 以下で満足な蒸散力と蒸散効率を得られ、結果的に手術は短時間で安全に終了可能である。

現時点でのレーザー前立腺手術において最も TURP に近い動きをする Twister fiber を用いた CVP は、TURP に習熟した泌尿器科医であれば非常に取り組みやすいと考えられる。シンポジウムでは主にビデオを用いて、僭越ながら現在の手技を供覧する。CVP 開始初期や導入を検討する先生方の一助になれば幸甚である。



関西医科大学総合医療センター 腎泌尿器外科  
関西医科大学腎泌尿器外科学講座 講師

駒井 資弘

Yoshihiro Komai

### 【経歴】

2000 年 3 月 関西医科大学医学部卒業  
2000 年 5 月 関西医科大学泌尿器科入局  
2003 年 4 月 関西医科大学附属香里病院 泌尿器科 助教  
2004 年 6 月 国立がんセンター中央病院 泌尿器科 レジデント  
2007 年 4 月 国立がんセンター中央病院 泌尿器科 チーフレジデント  
2008 年 4 月 関西医科大学附属滝井病院 泌尿器科 助教  
2009 年 4 月 関西医科大学附属枚方病院 泌尿器科 助教  
2011 年 4 月 関西医科大学腎泌尿器外科大学院  
(病理学第一講座 幹細胞病理学にて精子形成幹細胞の研究を行う)  
2015 年 3 月 学位取得  
2015 年 4 月 関西医科大学附属枚方病院 腎泌尿器外科 助教  
2016 年 3 月 第 15 回 関西医科大学医学会賞 優秀賞  
2017 年 12 月 関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科 講師  
2018 年 4 月 関西医科大学総合医療センター 腎泌尿器外科 講師

### 【認定・資格】

医学博士

日本泌尿器科学会専門医・指導医

泌尿器腹腔鏡技術認定取得医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

泌尿器科 da Vinci Si 支援手術教育プログラム修了

## 【演題 2】

# CVP の初期経験

### 〔概要〕

近年の高齢化により、前立腺肥大症（Benign Prostatic Hyperplasia : BPH）は男性にとって避けては通れない疾患となっている。薬物治療には限界があるため外科的治療の介入が必要となる場合も多い。

BPH の外科治療には多種多様な治療法が存在するが、我々は接触式レーザー前立腺蒸散術（Contact laser Vaporization of the Prostate : CVP）を 2017 年 6 月から導入した。CVP で使用するダイオードレーザーは 980nm の波長を持ち、水とヘモグロビン両方に吸収される特徴がある。従って、CVP は止血力に優れ、出血が少ない。EAU ガイドラインによると抗血栓療法継続中の場合、レーザー蒸散術が第一選択となっており、PVP と同様に CVP は抗血栓療法を継続しながら手術可能である。このことは抗血栓薬の休薬に伴う血栓・塞栓症のリスクを回避できるという利点に繋がる。

我々は現在まで 44 例に CVP を実施した。まだ少数例であり観察期間も短いですが、術後大きなトラブルなく行えており、非常に安全な術式であると実感している。また、術後の排尿機能は改善し、IPSS、QOL スコアも有意に低下している。しかし、大学病院ならではの問題を抱えていることにも気付かされた。

今回、我々は最近導入した CVP の初期経験と我々が感じた問題点について報告する。



東京腎泌尿器センター大和病院  
泌尿器科部長

河野 義之  
Yoshiyuki Kawano

【経歴】

2002 年 信州大学医学部卒業  
2003 年 虎の門病院前期レジデント  
2005 年 虎の門病院後期レジデント（泌尿器科専攻医）  
2008 年 NTT 東日本関東病院 泌尿器科  
2012 年 東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科  
2014 年 東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科副部長  
2015 年 東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科部長

### 【演題 3】

## 上達のコツと Pitfall

#### 〔概要〕

前立腺肥大症に対する外科治療として、当院では CVP と HoLEP を行なっている。CVP は HoLEP よりも手技習得が容易で、当院で後期研修医に CVP を執刀させた経験でも、安全に手技を完遂できおり周術期合併症を認めていない。このことから、CVP は若い泌尿器科医に対し、経尿道的手術の経験を積む教育の一環として期待できる。CVP は細径膀胱鏡を使用するため尿道に対する負荷は少ないが、反面、灌流効率が劣ることから、軽微な術中出血であっても術野不良となる。そのため、いかに無血野を維持するかが肝要である。特に、CVP は抗血栓薬を休薬することなく継続下で手技を行なうことが可能であるが、術中の出血傾向が高い傾向はあるため、レーザー手技以外の部分でいかに内視鏡擦過などによる腺腫からの出血を未然に防ぐかなど、前立腺形態と患者の罹患歴を考慮した手術戦略を考える必要がある。

また、前世代の側射型レーザーファイバーを使用したいくつかの先行研究によると、数パーセントの割合で、術後の刺激症状や尿失禁、排尿障害等が発症するリスクがあると報告されている。しかし、CVP に用いる半導体の接触型レーザーファイバーでは当該の事象が低減されており、当院の CVP 経験 200 例においても、輸血例や再手術例および刺激症状による頻尿や尿失禁は認められなかった。また、細径膀胱鏡の使用や内視鏡操作、術後の細径サイズの留置カテーテルの使用により、HoLEP で懸念されていた術後尿道狭窄においても、有意に発症率を低減することが可能であった。

当日のプログラムでは、当院の専門医が実施した CVP 群と後期研修医が実施した CVP 群を比較して、後期研修医が専門医の周術期成績と同等になるための症例数について見解を述べるとともに、当院における CVP の標準手技を供覧した上で、内視鏡操作を含めた、無血野を形成するための工夫、そして術後合併症を低減するために術中に行なっている方法について発表する予定である。



かとう腎・泌尿器科クリニック  
院長

加藤 忍

Shinobu Kato

【経歴】

1991 年 3 月	藤田保健衛生大学 医学部卒業
1991 年 6 月	藤田保健衛生大学病院 泌尿器科研修医
1993 年 4 月	平塚市民病院 泌尿器科医師
1994 年 4 月	成田記念病院 泌尿器科医師
1995 年 4 月	藤田保健衛生大学病院 泌尿器科助手
1998 年 3 月	藤田保健衛生大学 大学院博士課程卒業
2001 年 4 月	国民健康保険団体連合会 福生病院 泌尿器科医長
2003 年 4 月	平塚市民病院 泌尿器科主任医長
2006 年 6 月	平塚市民病院 泌尿器科部長
2013 年 7 月	かとう腎・泌尿器科クリニック院長

## 【演題 4】

# 中期成績から見た CVP の将来

### 〔概要〕

当院では 2013 年 8 月より CVP を導入し、無床診療所での HoLEP、CVP の日帰り手術を開始した。CVP の特徴は優れた蒸散と止血性能にあり、細径内視鏡使用下にクリアな視野での手術が可能で、術後の Hb 減少値は 0.08g/dl ときわめて出血の少ない手術を可能としている。

術後 6 ヶ月における PSA 減少率、体積減少率は 48.0%、58.5%で、排尿パラメーターは良好な状態が術後 4 年まで継続している（表参照）。接触型ファイバーは手技習得期間の短縮化と効率の良い蒸散を可能とし、蒸散効率は 1.98g/分である。その一方で使用する 980nm ダイオードレーザーの波長は水に吸収されにくいため、前立腺組織への光侵達深さはやや深くなる。術後早期の OABSS の点数が HoLEP と比較し、やや高い印象を受ける点や、術後 4 ヶ月における前立腺部尿道に壊死組織の付着が 47.8%にみられるのはその影響と考える。CVP はレーザーによる熱影響を理解したうえで使用すれば安全で大変有用な手術となる。

今回のフォーラムでは術後 4 年の中期成績から CVP 手術を振り返り、その問題点、将来展望について発表する予定である。

## CVP術後排尿パラメーターの推移

	Preope (n=146)	12M (n=84)	24M (n=58)	36M (n=26)	48M (n=23)
IPSS	21.6±6.4	6.2±4.5 *	5.5±3.7 *	5.9±3.9 *	6.1±3.9 *
QOL score	5.1±1.0	1.8±1.2 *	1.6±1.1 *	1.8±1.1 *	1.8±1.0 *
OABSS	6.6±3.0	2.8±1.9 *	2.6±1.6 *	3.3±1.9 *	3.0±1.3 *
Qmax(ml/s)	8.4±4.6	19.1±7.1 *	18.1±5.7 *	19.0±6.1 *	18.4±4.5 *
PVR(ml)	102.7±103.5	42.2±46.6 *	31.9±34.2 *	40.5±35.7 <sup>†</sup>	43.6±39.2 <sup>§</sup>

\*P< 0.001

<sup>†</sup>P = 0.006

<sup>§</sup>P = 0.023

# 接触式レーザー前立腺蒸散術フォーラム 会則

## 第1章 名称及び事務局

### 第1条 [名 称]

- 1) 本会は接触式レーザー前立腺蒸散術フォーラムと称する。
- 2) 接触式レーザー前立腺蒸散術の英語 Contact Laser Vaporization of the Prostate (CVP) から、略称はCVP フォーラムとする。

### 第2条 [事務局]

本会の事務局は国内に設置する。

## 第2章 目的及び事業

### 第3条 [目 的]

本会はCVPの普及と研究の推進に努め、泌尿器科診療の向上に寄与することを目的とする。

### 第4条 [事 業]

本会は第3条の目的を果たすために、以下の活動を行う。

- ① 研究集会を1年に1回以上で行う。
- ② 会員相互および泌尿器科関連学会との連携をはかる。
- ③ その他、CVPの普及と研究に必要な事業を行う。

## 第3章 会員

### 第5条 [会 員]

本会の会員は次の2種とし、正会員のみが議決権を有する。

正会員：本会の目的に賛同し、本会の活動および事業を推進するために入会した個人。

賛助会員：本会の目的に賛同し、本会を援助するために入会した団体または個人。

### 第6条 [会 費]

会員は、別に定める入会金および会費を納入する義務を有する。

### 第7条 [入 会]

- 1) 本会への入会には、本会の世話人会の承認を要する。
- 2) 承認手続きに時間を要する場合には仮入会を認める。

### 第8条 [資格喪失]

会員は以下に該当するときに、その資格を喪失する。

- ① 退会届の提出をしたとき
- ② 正当な理由なく会費を滞納し、催告を受けても納入しないとき
- ③ 世話人会の決議により除名されたとき

## 第9条 [退 会]

会員は、退会届を事務局に提出し任意に退会することができる。

## 第4章 役員

### 第10条 [役 員]

本会に以下の役員を置く。

- ① 代表世話人 1名
- ② 世話人 5～15名
- ③ 監事 1名

### 第11条 [選 任]

- 1) 代表世話人は世話人相互による無記名投票により決する。
- 2) 監事は代表世話人が世話人から推薦する。

### 第12条 [職 務]

- 1) 代表世話人は、本会を代表し業務を総理する。
- 2) 世話人は、会則および世話人会の議決に基づき、本会の業務を執行する。
- 3) 監事は、本会の収支および財産の状況を監査する。

### 第13条 [任 期]

役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

### 第14条 [世話人会]

- 1) 本会の最高決定機関として、世話人会を置く。
- 2) 世話人会は代表世話人・世話人・監事により構成される。
- 3) 世話人会は、委任状を含む過半数の世話人の出席により成立する。

## 第5章 会計

### 第15条 [本会の経費]

本会の経費は、年会費・寄付金およびその他の収入を以って充当する。

### 第16条 [事業年度]

本会の事業年度は1月1日より12月31日までとする。

### 第17条 [決 算]

本会の決算は、毎事業年度終了後、代表世話人が監事の監査を受けた上で、世話人会の承認を受ける。

## 第6章 雑則

### 第18条 [期 間]

- 1) 本会の存続は成立より7年間（2024年末）とする。
- 2) 以後の継続については世話人会の議をもって決する。

### 附則

- 1) 本会会則は2018年1月1日より施行する。
- 2) 本会の入会費・年会費は以下の通りとする。

入会費：なし

年会費：①正会員　：　2,000 円

②賛助会員： 20,000 円（1 口）

3）事務局は、日本赤十字社医療センター院長室に置く。

〒150-8934 東京都渋谷区広尾 4-1-22

代表番号：03-3400-1311（内線 2101）

4）設立時の役員は以下の通りとする。

代表世話人：本間　之夫　（日本赤十字社医療センター）

世話人：　松田　公志　（関西医科大学附属病院）

高橋　悟　（日本大学附属板橋病院）

山口　秋人　（原三信病院）

加藤　忍　（かとう腎・泌尿器科クリニック）

河野　義之　（東京腎泌尿器センター大和病院）

宮内　聡秀　（大分泌尿器科病院）

監事：　　大家　基嗣　（慶應義塾大学病院）

2018 年 1 月 1 日制定

# CVP フォーラム 会員名簿

(平成 30 年 4 月 17 日現在)

[代表世話人]	本間 之夫	(日本赤十字社医療センター)
[世話人]	松田 公志	(関西医科大学附属病院)
	高橋 悟	(日本大学附属板橋病院)
	山口 秋人	(原三信病院)
	加藤 忍	(かとう腎・泌尿器科クリニック)
	河野 義之	(東京腎泌尿器センター大和病院)
	宮内 聡秀	(大分泌尿器科病院)
[監事]	大家 基嗣	(慶應義塾大学病院)

[会 員]		
	安部 弘和	(亀田総合病院)
	石川 晃	(日本赤十字社医療センター)
	石松 隆志	(平山泌尿器科医院)
	牛嶋 壮	(京都府立医科大学大学院医学研究科)
	奥野 博	(国立病院機構京都医療センター)
	小田代 昌幸	(小田代病院)
	金子 智之	(同愛記念病院)
	木下 秀文	(関西医科大学附属病院)
	小糸 悠也	(関西医科大学附属病院)
	駒井 資弘	(関西医科大学附属病院)
	才田 博幸	(医療法人英幸会 鹿屋泌尿器科)
	作田 剛規	(仁楡会病院)
	佐藤 雄二郎	(日本赤十字社医療センター)
	塩澤 迪夫	(東京大学医学部附属病院)
	篠島 利明	(慶應義塾大学医学部)
	杉原 亨	(東京都立多摩総合医療センター)
	杉村 芳樹	(三重大学大学院医学系研究科病態修復医学講座)
	鈴木 康一郎	(亀田総合病院)
	鈴木 理仁	(川崎幸病院)
	須山 一穂	(相模原赤十字病院)
	関 成人	(九州中央病院)
	関戸 哲利	(東邦大学医療センター大橋病院)
	高橋 良輔	(総合せき損センター)
	高本 均	(倉敷成人病センター)
	棚橋 善克	(棚橋よしかつ+泌尿器科)

恒川 琢司	(東光やわらぎ泌尿器科)
鶴 信雄	(鶴泌尿器科クリニック)
長岡 明	(米沢市立病院)
中川 徹	(帝京大学医学部附属病院)
長澤 丞志	(富山西総合病院)
中園 周作	(武蔵野赤十字病院)
中村 真樹	(東京大学医学部附属病院)
野尻 明弘	(医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院)
野村 照久	(医療法人社団すずき会 鈴木・野村泌尿器クリニック)
野村 博之	(原三信病院)
樋口 喜英	(愛仁会 千船病院)
平原 直樹	(京都第二赤十字病院)
平山 英雄	(医療法人英山会 平山泌尿器科医院)
福原 浩	(東京大学医学部附属病院)
藤村 哲也	(自治医科大学医学部)
松本 明彦	(東京大学医学部附属病院)
宮崎 啓成	(薬院ひ尿器科医院)
森山 正敏	(医療法人社団康心会 湘南東部総合病院)
山田 大介	(東京大学医学部附属病院)
柚須 恒	(医療法人圭成会 大分泌尿器科病院)
横山 修	(福井大学医学部)

[賛助会員] 株式会社インテグラル

(五十音順)

**【CVP フォーラム 事務局】**

日本赤十字社医療センター 院長室

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 内線 : 2101

ホームページ : <https://cvpforumuro.wixsite.com/cvpforum>

抗悪性腫瘍剤  
ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

薬価基準収載

# キイトルーダ® 点滴静注 20mg・100mg

ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)製剤

KEYTRUDA®

(生薬由来製剤) (剤型) (処方箋医薬品) (注) 第一級医薬品の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については  
添付文書をご参照ください。



製造販売元

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア  
<http://www.msd.co.jp>



販売代理

大鵬薬品工業株式会社  
東京都千代田区神田錦町1-27

2018年2月付刊  
KVL1804-0876-0213



私たちの使命は

「生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer」

Do more,  
feel better,  
live longer

グラクソ・スミスクラインは、科学に根ざした  
グローバルヘルスケア企業です。

「生きる喜びを、もっと」を使命に、世界中の  
人々がより充実して心身ともに健康で長生き  
できるよう、生活の質の向上に全力を尽くして  
いきます。

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR  
<http://jp.gsk.com>

セルニルトン錠は、植物の混合花粉エキスを主成分とする製剤で、薬理学的に抗炎症作用、排尿促進作用、抗前立腺肥大症を有し、慢性前立腺炎及び初期前立腺肥大症\*に効果を有する薬剤です。

薬価基準収載

販売元

 扶桑薬品工業株式会社

製造販売元

 東亜薬品工業株式会社

資料請求先

東亜薬品工業株式会社 学術部

〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-10-1



前立腺疾患治療剤

# セルニルトン<sup>®</sup>錠

## ■組成

1錠中セルニチンポーレンエキス63mgを含む淡緑色の錠剤

## ■効能・効果

- 1) 慢性前立腺炎
- 2) 初期前立腺肥大症による次の諸症状\*

排尿困難 頻尿 残尿及び残尿感  
排尿痛 尿線細小 会陰部不快感

## ■用法・用量

1回2錠、1日2～3回経口投与する。  
症状に応じて適宜増減する。

## ■使用上の注意

### 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度については承認時及び1997年6月迄の文献報告を参考に集計した。

副作用評価可能症例は984例で、副作用発現例は28例(2.85%)で、その大部分(24例、2.44%)は胃腸障害、胃部不快感、食欲不振等の消化器症状であった。

	0.1～5%未満	頻度不明
皮膚症)		発疹、麻疹等の過敏症状**
消化器	嘔気、食欲不振、胃部不快感、便秘等	

注) このような症状があらわれた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

\*\*副作用自発報告を含むため頻度不明。

◇その他の使用上の注意については添付文書をご参照下さい。

2015年11月作成

Contact laser  
Vaporization of the  
Prostate

## Ceralas<sup>®</sup>HPD レーザー

接触式レーザー前立腺蒸散術

Twister<sup>®</sup> Fiber

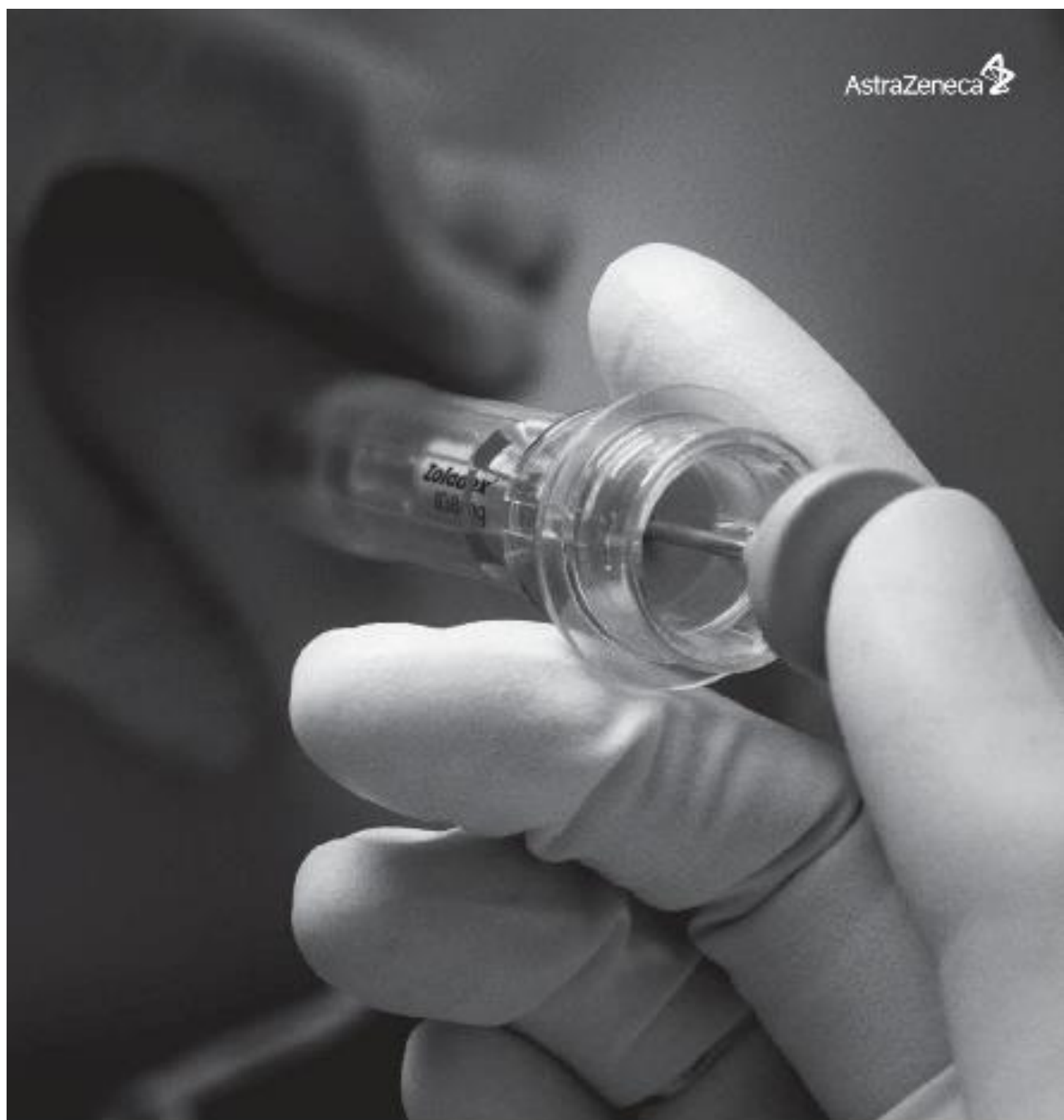
高出力 簡便性  
止血性

Integral

製造販売元  
株式会社インテグラル

東京都品川区上大崎 2-25-2  
TEL:03-6417-0810 FAX:03-6417-0853  
<https://www.bphlaser.jp>

販売名：Ceralas HPD レーザー  
医療機器承認番号：22800BZX00077000



LH-RHアゴニスト  
特許性 前立腺癌/乳癌前駆症治療薬

## ゾラデックス® 3.6mg デポ

**Zoladex® 3.6mg depot** (ゴセレリン酢酸塩デポ)

創薬/指定医薬品/処方箋医薬品<sup>※1</sup> [ 薬価基準収載 ]  
注) 注冊一価併売等の処方箋により使用すること

3ヶ月持続型LH-RHアゴニスト  
特許性 前立腺癌/乳癌前駆症治療薬

## ゾラデックス® LA10.8mg デポ

**Zoladex® LA 10.8mg depot** (ゴセレリン酢酸塩デポ)

創薬/指定医薬品/処方箋医薬品<sup>※1</sup> [ 薬価基準収載 ]  
注) 注冊一価併売等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては各製品の最新添付文書をご参照ください。

〈資料請求先〉 アストラゼネカ株式会社 大阪市北区大塚町3番1号

PCAD2017 2017年3月作成



Better Health, Brighter Future



## タケダから、世界中の人々へ。 より健やかで輝かしい明日を。

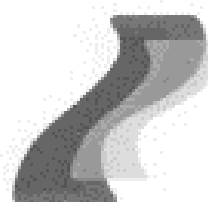
一人でも多くの人に、かけがえのない人生をより健やかで  
喜びで溢れ、タケダは、そんな想いのもと、1992年の  
創業以来、世界的な医薬品の開発を通じて社会とともに  
歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、多岐から  
創薬・診断にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。  
その一つひとつに挑んでいくことが、私たちの真の使命。  
よりよい医療を実現する人々に、少しでも多く  
貢献する。それが、いつまでも変わらぬ私たちの信念。  
世界中の英知を集めて、タケダはこれからも、世界の  
未来を切り拓いていきます。



前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤

薬価基準収載



**ザルティア<sup>®</sup>** 錠 2.5mg  
5mg  
タダラフィル錠  
Zalutia<sup>®</sup>

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌(原則禁忌)を含む使用上の注意等については添付文書を参照してください。

ザルティア<sup>®</sup>およびZalutia<sup>®</sup>は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの登録商標です。



販売元(国内製造元)  
**日本新薬株式会社**  
京都府南丹郡美山町西ノ庄門1番14



製造販売元  
**日本イーライリリー株式会社**  
1-105-1-0000 東京都港区新橋1-10-5

2016年1月作成



すべての患者は患者さんのために

中外製薬

ロシュグループ



光線力学診断用剤

処方箋医薬品<sup>※1</sup>

薬価基準収載

# アラグリオ<sup>®</sup> 顆粒剤分包 1.5g

## アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤

### ALAGLIO<sup>®</sup>

注) 注意一添葉等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

〔資料請求先〕

製造販売元：SBIファーマ株式会社

〒106-6020 東京都港区六本木一丁目6番1号

販売：中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋本町2-1-1

2017年11月作成

# == Memo ==

# == Memo ==



